

第2回 旧岩井西高校跡地検討委員会【会議録】

日 時：平成30年7月18日（水）午後2時～3時20分

場 所：坂東市役所3階 大会議室

出席者：花島美津子、永塚久男、北村広美、鈴木光與志、石山巖、須賀正雄、
（敬称略）中島玉枝、小谷野伊一、張替秀吉、風見好文（欠席：青木潔、野本隆男）

<事務局>企画部長、企画課長、企画課員（課長補佐以下4名）

（全体進行：企画課長）

配布資料 ・ 会議次第
・ 委員名簿
・ 座席表
・ 旧岩井西高校跡地検討委員会第2回会議資料
・ 参考資料 市内公共施設一覧

1. 開 会

（配布資料、会議日程等について説明）

2. あいさつ

○石山巖委員長

本日はお忙し中、また格別暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。第2回岩井西高跡地検討委員会ということで、前回の視察につきまして今回はさらに具体的な提案について述べていただければと思う。

性急に形をまとめていくというよりは、色々なところからの意見を出していただき、それらの中から、さらに検討していくという形になればと思うので、忌憚のない意見を頂戴したい。

○花島美津子副委員長

本日もよろしくお願いたします。

3. 議 事（進行：石山委員長）

（1）旧岩井西高校の施設等について ※事務局より資料説明

● 敷地面積、主な建築物 等

<質疑等>

特になし

(2) 利活用の検討(論点)について ※事務局より資料説明

- 利活用のパターン
 - ① 県所有のまま、施設の有効利用を図る
 - ② 市で購入し、単独で整備、運営する
 - ③ 市で購入し、管理・運営団体を公募で決定する
- 市で利活用する場合の留意点
 - ① 投資額に見合った効果等が見込まれること(費用対効果)
 - ② 将来に渡って持続可能な事業であること(事業の持続性)
- 利活用の方向性(検討例)
 - ① 福祉・健康関係における利活用
 - ② 市民交流・協働関係における利活用
 - ③ 防災・防犯関係における利活用
 - ④ 文化・観光・産業関係における利活用

<質疑等>

委員	西高の部分的な取得は可能か。
事務局	購入する場合は一括での購入と県より話を受けている。
委員	購入した場合、残す施設は？
事務局	購入した場合、市の判断で決定する。
委員	購入価格はどの程度となるか。
事務局	現状のままで、1億2,500万円。解体費は4億円と見込まれている。
委員	維持についての試算はしているか。
事務局	現時点では行っていない。
委員	活用面での予算、リフォーム費用も掛かるのか。
事務局	空調や電気系統の全体的な修繕など、相応の金額がかかると思われる。
委員	西高跡地の利活用について、市としてのたたき台はあるか。
事務局	検討委員の皆様にご意見を伺いたい。たたき台は作成していない。
委員	ハザードマップもあるが、状況はどうか。
事務局	最悪の場合で2m~5m浸水するといわれている。
委員	警察署や消防署など、防災面では広いスペースが必要と思われる。
事務局	皆さんから出していただいた意見を1本にまとめるのではなく、何本かの案にして、提言していただきたい。
委員	岩井西高の築年数も経っている。部分的に使うにしてもお金がかかる。更地にしてみてはどうか。
委員	西南広域消防本部の状況を聞いてみたい。浸水しないよう土地のかさ上げも良い方法だと思う。新しい施設を作って人を呼べる時代ではないと思う。防災関係の施設であれば永遠に続くものになると思う。

委員	坂東消防署は震災の影響で（望楼など）使えない状態である。消防団としては操法大会などもあり、広い練習場がほしい。練習場は消防署の近くにあるとよい。
委員	西日本の豪雨災害の状況を見て、防災関係施設や避難所などが必要だと思った。
委員	公設民営で検討例①の施設をまとめた総合福祉センターも良いと思う。
委員	子供に利用してもらうために珍しいスポーツ施設はあり。もしくは財政面のことを考え、県に返却するのも一つだと思う。
委員	将来的に岩井高校と坂東総合高校が統合され、坂東総合高校を実習施設として利用するのであれば、岩井高校に実習施設が近いとよいと思う。岩井西高を実習施設として利用するのはどうか。
事務局	本日欠席の委員から次のご意見を預かっているので紹介します。 <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ・大学サークルに対応施設、強化合宿施設 ・テニスコートのオムニコート整備での市民、学生への開放 ・企業誘致によるドローンスクールの開校 ・教室利用の研究所的施設としての貸出し ・学校敷地の一部を企業管理型の市営住宅、公園整備 ・多目的型、教習、講習スポット的での教室貸出し ・施設を解体せずに出来る企業誘致 ・県への返還
委員	いつまでに提案内容を決めるのか。
事務局	年度内までにまとめることになっている。
委員	県内の先行事例はどのようか。
事務局	（事務局より、県内の高校跡地利用状況について説明） <ul style="list-style-type: none"> ・大子第二高（H18 廃校）・・・東京理科大誘致 ・大宮工業高（H20 廃校）・・・医療法人（看護専門学校）、民間企業（野菜苗農場） ・境西高（H23 廃校）・・・特別支援学校 ・江戸崎西高（H19 廃校）・・・稲敷市庁舎建設用地 ・北茨城高（H22 廃校）・・・私立病院
委員	現在市内に在住している外国人向けの日本語教室はどうか。ゴミ捨てるなどのモラルを学んでもらいたい。
委員	施設を貸すにして、利益を求めるのか？ 利益がなければ財政負担が大きくなってしまう。
委員	坂東市にとって不足しているものは医療機関と思われる。絶対必要なものについては、財政負担が出ても市民の納得を得られると思う。

- 委員 病院があっても良いと思う。高齢者などは交通の便が悪く病院に行くのも難しい状況。
- 委員 まずは、市で買う形で進めていければ、意見を出していける。
- 委員 購入する場合は、坂東市民が利用する施設がよい。常総市の釣り堀は経営が黒字となっている。西高のプールも同じように使えないか。
- 委員 プールは見た目以上に傷んでおり、相当な改修が必要と思われる。費用として数千万掛かるのでは。
- 委員 マレーシアは医療でまちを活性化させている。
国で（高齢者の）刑務所をもってきてもらえれば、その近くに医療機関が作られるのではないか。国の誘致と合わせ、欲しいものを合わせることはできないか。できるにはどうしたらよいか考えていきたい。

4. その他 ※事務局より説明

- 会議は基本的に年4回開催としているが、議論の進捗状況を見て委員長とも相談のうえ、追加で開催する可能性があることご理解いただきたい。
- 次回の会議は8月31日（金）午後2時からを予定している。

5. 閉会

以上